

HOPES

ホープス セカンド
2nd

大澤 明浩さん（上飯樋）
大澤さんは、教育の分野で国際協力活動を行いたいという夢を持ち続けてきました。大学時代にはカンボジアでボランティアを経験。日本的小学校で働き出してからも、途上国の学校や孤児院を訪れるなどして、その思いを確かなものにしてきました。「日本の中で、外国につながりを持つ子ども達と日本の子ども達とが、互いの文化を

世界とつながる達とをつながりたい

大澤 明浩さん（上飯樋）

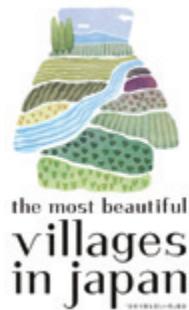


ザンビアは旧イギリス領で公用語は英語。大澤さんは英語と現地語の一つトンガ語を使っています。来年7月までの2年間、学習支援や先生方へのサポートを行います。

「遠く離れた国と私達との間の共通点・相違点を、子ども達に伝えたいです。グローカル（グローバルな視点を持つ視点で、みんなとのよみを考えてほしいから）。そして大澤さん自身も、日本とのよれを再認識していると言います。「家族や友人、応援してくれる身近な人の笑顔を大事にしたい、感謝を伝えたいと思うようになりました」。

大澤さんは、出身校である飯館の小中学校の子ども達にも思いを寄せ、「いつかこの経験をお話する機会が持てたら」と密かに願っています。

● 「平成」から「令和」へと元号が変わり、新しい時代の幕開けです。今号の特集は、「昭和」から「平成」に変わった当時の広報担当者との会話からヒントを得て企画しました。時代の変わった大切な節目を10大ニュースと共に振り返り。平成の30年間を振り返る一助になつていただければ幸いです。そして、新しい時代、新しい幸せを見つけていきましょう。（木幡）



飯館村は「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。



神奈川県川崎市の公立小学校で7年間勤務。昨年からJICA（ジャイカ／国際協力機構）海外協力隊のボランティア事業でアフリカのザンビア共和国に派遣され、現地の教育現場を支援しています。

受容し、共生できるよう、両者をつなぐパイプ役になりました。そして、よいよ、昨年7月、ジャイカ海外協力隊としてザンビアに渡り、現地の学校で活動を開始しました。

派遣先には、村と似た雰囲気があると感じています。

「遠く離れた国と私達との間の共通点・相違点を、子ども達に伝えたいです。グローカル（グローバルな視点を持つ視点で、みんなとのよみを

考えてほしいから」。そして大澤さん自身も、日本とのよれを再認識していると言います。「家族や友人、応援してくれる身近な人の笑顔を大事にしたい、感謝を伝えたいと思うようになりました」。

大澤さんは、出身校である飯館の小中学校の子ども達にも思いを寄せ、「いつかこの経験をお話する機会が持てたら」と密かに願っています。

△編集後記

「平成」から「令和」へと元号が変わり、新しい時代の幕開けです。今号の特集は、「昭和」から「平成」に変わった当時の広報担当者との会話からヒントを得て企画しました。時代の変わった大切な節目を10大ニュースと共に振り返り。平成の30年間を振り返る一助になつていただければ幸いです。そして、新しい時代、新しい幸せを見つけていきましょう。（木幡）